

別記第1号様式(第7関係)

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		味楽百貨店整備・活用検討委員会
事務局（担当課）		文化デザイン課・文化観光課
開催日時		令和4年2月7日（月）18時00分～19時30分
開催場所		豊島区役所5階庁議室
議 題		(1) 整備基本計画案について (2) 施設名・愛称について (3) 新たな文化施設の管理運営について
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 0人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委 員	足立座長、羽場副座長、小出委員、河原委員、一乃瀬委員、酒井委員、本多委員、大山委員、山内委員、田中委員、高際委員、秋山委員 計12名 欠席者：小林委員、齊藤委員
	そ の 他	文化商工部長、都市整備担当部長、公益財団法人としま未来文化財団 ミュージアム運営課長
	事 務 局	豊島区文化デザイン課 豊島区文化観光課

審 議 経 過

No. 1

【開会】

事務局：第4回味楽百貨店整備・活用検討委員会を開催いたします。早速、高野区長より御挨拶をお願いいたします。

【区長挨拶】

高野区長：本日は第4回味楽百貨店整備・活用検討委員会を開催させていただきます。大変遅く、また、リモートで会議を行うのはこの委員会では初めてだと思います。会場には、A委員をはじめ様々な方にお越しいただいております。画面には映っているので、一同で会議ができると思います。先日、味楽百貨店を見学させていただきました。ずいぶん出来上がっていて、わくわくしました。またトキワ荘通りに味楽百貨店が整備されることによって、南長崎地域のまちづくりが着々と進んでいくのではないかと期待感があります。本日は、遅くの会合で恐縮ですが、地元の皆様を中心にしながら是非、盛り上げていただけたらと思います。読売新聞に、トキワ荘マンガミュージアムの鉄腕アトム展について掲載されていまして、話題に尽きないのが現状だと思っています。次から次へと話題を出すということは、素晴らしいことだと思います。そして、皆様方のご期待に違わず、まちづくりが進んでいくのだと思います。この区制90周年の最大の目玉である味楽百貨店、正式な名称は「豊島区立昭和歴史文化記念館」という名前を付けたいと考えています。昭和の歴史文化を思い起こし、次世代に継承する施設になるようにという願いが込められています。豊島区民の皆様の期待も大きいかと思いますので、皆様、力をいれてしっかりとやってまいりましょう。以上、開会の御挨拶とさせていただきます。

事務局：有難うございます。では、議事に入ります。

本日は、議題が3点、報告が1点となっております。恐縮ですが、時間の都合や資料の関係性が高いことから、議事は一括で事務局からご説明させていただき、最後に皆様からご意見いただく時間を設けたいと考えております。それでは、整備基本計画案についてでございます。

【(1)整備基本計画案について】

文化デザイン課長：まず、議題の1番、整備基本計画素案についてでございます。資料は1-1と1-2、1-3です。パブリックコメントの結果についてご説明させていただきます。令和3年12月11日から令和4年1月11日まで、基本計画素案についてパブリックコメントを行いました。委員の皆様からも多くのご意見を頂きまして、合計21件のご意見を頂戴しました。それぞれご意見を踏まえつつ、基本計画案に反映しましたので、その部分についてご説明させていただきます。具体的な記述を落とし込んだ部分がありまして、2ページのNo.5から9は、障害のある方が入りやすく、親しみやすいスペースに

してくださいというご意見です。このご意見を踏まえまして、基本計画の5ページ、第2章（2）多様な来訪者を迎え入れ、誰もが快適に過ごせる空間の本文中に「障害のある方」を追記させていただきました。続いて3ページのNo.13、多目的室の仕様についてです。多目的室は企画展や講座、ワークショップ、イベント等、様々開催できるよう整備してまいります。後程、ご説明させていただきたいと思います。それから5ページのNo.16の事業内容についてです。日常的に来場者を増やすという意味でも様々なイベントを開催していただけないかというご意見です。基本計画13ページ、こちらに「定期的なイベントの開催等」という文言を設けました。資料1のパブリックコメントについての説明は以上です。内容はおおむね計画に賛成頂いているご意見でした。このように整備基本計画を固め、この後、議会に上げさせていただきたいと思います。具体的な事業展開については、これから皆様のご意見いただきながら、進めてまいりたいと思っておりますが、計画についてはひとまずこのような形で進めさせていただきます。

【(2) 施設名・愛称について】

引き続き、議題2の施設名・愛称についてのご説明をさせていただきます。資料2-1をご覧くださいでしょうか。先程、区長よりお話ありましたように、正式名称は案ではございますが、「豊島区立昭和歴史文化記念館」と名前をつけさせていただきたいと思っております。昭和の歴史・文化を思い起こし、次世代に継承する施設になるという願いを込めて命名いたしました。この後、正式名称として議会に提出し、条例名として設置をしていきたいと考えております。愛称につきましては、施設がより多くの方に親しまれるよう、正式名称とは別に愛称をつけたいと思っております。この愛称が、看板に大きく名前が載ることになります。こちらを皆様と考えていきたいと思っております。選定の視点としては、コンセプトがイメージできるもの、分かりやすく、親しみやすいものと考えております。資料で挙げさせていただいた候補は、皆様に発想していただくためのものですが、「トキワ荘通り」という言葉はつけたいと思っております。候補案として(4)に記載しておりますが、①トキワ荘通り昭和レトロ館、②トキワ荘通り昭和おもかげ館、③トキワ荘通り昭和レトロミュージアムのような名称を、皆様のご意見を頂戴しながらつけたいと思っております。この後、全体の説明が終わった後、ご意見頂戴したいと思っておりますので、施設名、愛称のご説明は一旦、終了いたします。

【(3) 新たな文化施設の管理運営について】

続きまして、議題3、新たな文化施設の管理運営についてです。資料3-1をご覧ください。まず、区からの案をお示ししたいと思います。1.管理運営ですが、開館時間につきましては午前10時から午後6時まで、入館は午後5時半までと考えております。休館日は月曜日、年末年始、展示替えの期間です。展示替えというのは、多目的室を使用しての展示の期間等

審 議 経 過

No. 3

を想定しております。こちらは、周辺施設である、トキワ荘マンガミュージアムとの関連を考慮した時間になっております。2.貸出ですが、貸出施設は多目的室1・2です。資料1-2の裏面をご覧くださいませでしょうか。多目的室を1階の奥と2階に1室ずつ設けております。こちらを貸室として活用しようと考えております。ただ、何にでも貸出すという発想の仕方ではなく、施設の目的として、昭和の歴史文化を次世代に発信するようなイベントや催事、また地域活性化に資するものについて貸し出しを行いたいと考えております。貸出の目的に適した会議や行事、物販、その他営利目的の使用などの催しにも使えるようにしたいと思っております。貸出対象者の方は、区内の在住、在勤、在学、区内外の団体を想定しております。開館時間の範囲内で、午前10時から12時、午後1時から5時を枠としております。午前・午後、もしくは2枠を合わせた全日を貸し出ししたいと思っております。連続使用につきましては、7日間までと想定しております。この中身は催事などの状況によって、必要な場合はこの限りではないと、特例も設けていきたいと考えております。使用料につきましては現在検討しております。近隣の区施設の運営状況と、資料3-2にある近隣の貸室の運営状況と入館料などを参考にしながら決めていきたいと考えております。会議利用の場合は、区民集会室と同じく、営利目的など金銭を徴収するものは追加の使用料をいただく形で考えております。案が決まりましたら、また皆様にお示ししたいと思っております。資料3のご説明は以上になります。大筋はこちらの案を元に、様々決めていき設定させていただきたいと思っております。議題のご説明は以上です。

事務局：有難うございます。続きまして、報告をさせていただきたいと思っております。

【報告 《区制90周年記念》特別記念展の開催について】

事務局：区制90周年記念事業としての、1階、2階の多目的室の使用について区の方からご説明させていただきたいと思っております。では、報告1、「(仮称)タイムトリップ 豊島区の90年」について、L委員よりご説明をお願いいたします。

L委員：まだ案の段階ですが、この豊島区立昭和歴史文化記念館の2階の多目的室2で、開設の11月から翌年の3月末を会期として、「(仮称)タイムトリップ 豊島区の90周年」という展示会をしたいと考えております。こちらは、郷土資料館で10月1日から開催する「(仮称)大豊島区展」の連携展示として企画しているものです。昭和時代に撮影された景観写真と、同じ場所から撮影した現在の景観写真を比較するという内容を基本にしてパネル展示を考えています。例えば、資料裏面にパネルイメージを掲載しております。左側が1967年の池袋駅東口、まだ都電が走っていたころの駅前の様子です。左側の建物が西武百貨店、右側が当時の丸物、現在の池袋パルコでその前に都電の17番系統が走っている写真です。

審 議 経 過

No. 4

これを現在の同じ場所から撮影したらどう変化があるのかという内容が左側のパネルイメージです。それから右側が、長崎5丁目に千川上水が流れていたころの昭和25年頃の写真を使用しています。こちらと、現在の暗渠となって水の流れがない写真の比較です。このような区内各所の写真を比較して、その変遷を見るという内容の展示になると思います。併せて、ジオラマ作家の山本高樹様による人世横丁のジオラマといった、昭和の時代を象徴するような写真とジオラマを基本にして構成するのがこちらの展示会になります。以上です。

事務局：続いて、報告2につきまして、私の方からご説明いたします。1階奥の多目的室1の90周年記念事業での使用方法を説明いたします。検討委員会でも、1階の奥については単なる展示ではなく、イベントやワークショップなどの動的なコンテンツを取り入れたほうが良いというご意見を頂いておりました。また一方で、今回のパブリックコメントでは、イベントが行われない時には閑散とした空間になってしまうというご指摘も頂いておりました。それを踏まえ、1階のマンガナイト様と連携し「これも学習マンガだ！展」の展示をさせていただきたいと考えております。趣旨としましては、区制90周年というのは単なる90周年ではなく、100周年に向けての豊島区の未来を作り発信するという役割があると考えておりますので、SDGs 未来都市の豊島区として子どもたちに資する展示をしていきたいと考えております。資料下の会場のイメージですが、若い世代に知名度のある作品を選び、原画や複製原画を会場入って左右の作品エリアA・Bに展示します。他にも作中の名台詞を使用した展示や、立体CG、感想を書いていただく参加型展示など動的なコンテンツ、トキワ荘関連の展示をする予定です。2会期に渡り、作品の展示替えをすることで様々なターゲット層に対応する予定です。裏面をご覧ください。上部が、「これも学習マンガだ！」作品をピックアップしたのになります。今の若い世代に人気のある作品が並んでおります。下部、展示イメージですが、横手市の増田まんが美術館を参考に、ためになる名台詞やポストイットを使用しての来館者参加の動的なコンテンツを取り入れたいと考えております。左下に記載の内容ですが、この展示は文化庁が全国展開している「日本博」にエントリーをし、補助金の申請を行っていかうと考えております。報告2は以上です。

事務局：整備基本計画案、施設名称・愛称、管理運営、区制90周年記念特別企画展についてご説明させていただきました。皆様のご意見を頂きたいと思っております。C委員いかがでしょうか。

C委員：名称についてですが、ファサードの看板に愛称が大きく入るということで、重要だと思います。候補が3つ挙げられていますが、これを本日決定するというのでしょうか。

審 議 経 過

No. 5

事務局：愛称につきましては、本日頂くご意見を踏まえ、最終的に高野区長と A 委員で決定していただきたいと考えております。いかがでしょうか。

C 委員：わかりました。個人的には「昭和レトロ館」という候補が分かりやすく良いのではないかと思います。また、年度内は多目的室で90周年の展示を行うということですが、その後の事業展開が途切れないようにしていただきたいです。まず、マンガナイト様がオープンしますが、その頃からイベントの募集や告知をしていかなければ、良い活用ができないと思います。

文化デザイン課長：有難うございます。本日は施設オープン時の区制90周年記念特別企画展の内容と、この後の貸室としての活用についてご説明いたしました。活用の中身については、引き続き検討委員会の中で検討していただきたいと考えております。

事務局：I 委員いかがでしょうか。

I 委員：まず名称についてですが、看板の見せ方が難しいと思います。現状、正式名称と愛称が一緒に掲出されるときに、「昭和」という言葉がどちらにも入っているため、「昭和」の印象が強くなってしまうという点が気になります。例えば、どちらかの名称だけ掲出する、正式名称は小さくするなどが良いと思います。昭和生まれの私は「昭和」という言葉に対してポジティブですが、昭和に生まれていない方にとっては「すごく昔」という印象や戦争と結びついている方が多いようです。「昭和館」や「昭和記念館」と名称につくと、戦時中の暮らしを展示していると勘違いしてしまう方もいると思います。実際は「昭和レトロ館」に近いので、その要素を出すのは素晴らしいと思うのですが、「昭和」が二度も看板に出ると、若い方は距離を感じてしまうと思います。そのため、愛称などで調整すると良いと思います。もう1点も看板周りについてです。トキワ荘マンガミュージアム、お休み処それぞれにロゴがありますが、味楽百貨店整備の目的が、他の施設を繋いでエリアの結びつきを強くすることだと思いますので、ある程度統一性のあるロゴやフォントを使用したほうが良いと思います。他の地域から来た方が一連の施設であると認識し、回遊したくなる一体感が出ると思います。トキワ荘マンガミュージアムと同じ雰囲気ロゴや看板にすることで、外からくる方々にとって街全体が一体となっているという印象に繋がると思いますし、安心して施設内を回ってもらえると思います。最後に利用方法についてです。案では、区長の承認がない場合、7日連続利用が最長になっています。商業的なもので施設を利用する場合に、土日を含められる長さの方が実施しやすいと思います。例えば、10日間にすることで、金曜日からスタートして翌週の日曜で終わるようなスパンで借りることができると、コストがか

審 議 経 過

No.6

かるような内容を検討している事業者も安心して使いやすいと思います。7日間でも問題ないですが、10日間の方がより良いと思います。

文化デザイン課長：有難うございます。名称についてですが、「トキワ荘通り」という言葉はつけたいと思っております。そのあとの「昭和」の部分に関しては候補案ですので、皆様にご意見を頂いて決めていきたいと思っております。併せまして、ファサードについての貴重なご意見を頂きました。現在、様々なファサード案を作成しておりますので、こちらについても参考にさせていただきたいと思っております。また、管理運営の連続利用につきましても、ご意見を参考に、他の区施設と整合性を取りながら決めていきたいと思っております。有難うございます。

事務局：H委員いかがでしょうか。

H委員：味楽百貨店は、1階も2階も利用していたので、期待しております。名称についてですが、小さいころからずっと「味楽百貨店」と言っていたので、他の名称に変更するという実感がわかないのですが、色々と元号が変わっているので「昭和」と使っていただければ、嬉しいかなと思っております。皆様のご意見を参考にしたいので名称については以上です。

事務局：お時間ありませんので、まずは皆様のご意見お伺いしようと思っております。G委員いかがでしょうか。

G委員：愛称についてですが、他の名称を付けても「味楽百貨店」と呼んでしまいそうだと思います。また、トキワ荘マンガミュージアムとトキワ荘通りお休み処の中間に位置しているので、休憩場所がほしいです。ですので、展示会期中も椅子などを置いていただきたいと思いました。

事務局：有難うございます。では、J委員いかがでしょうか。

J委員：愛称につきましては、今ご意見あったように、「味楽百貨店」の看板が目立つので、アイキャッチとしてはその看板が強いと思います。出ている3案からだと、①トキワ荘通り昭和レトロ館の「館」の文字が味楽百貨店の雰囲気合うのではないかと思います。また、今回の取り組みは、東長崎地域の施設を回遊させて街を盛り上げるというまちづくりだと思います。そのために、例えば、現在流行っているガチャガチャや自動販売機を置いてみても良いと思います。昨年11月の東京芸術祭2021の際に、ガチャガチャを自由学園明

日館やいくつかの劇場に設置したところ、あっという間に完売しました。例えばトキワ荘マンガミュージアム、味楽百貨店、トキワ荘通りお休み処に設置することで回遊性を作るきっかけになると思います。

施設の休館日でも、子どもたちが楽しんで何かを購入できるような仕掛けをしたら良いのではないかというのが1点です。それから、1月28日から30日にかけて池袋西口公園のグローバルリングでデジタルアートのイベントがありました。拝見して面白いなと思ったのが、WACCA 池袋に設置された機械で作成した自分自身のアバターが江戸時代の街並みに登場して歩いたり踊ったりするという体験でした。予算については度外視してお話しますが、その取り組みを利用すると、子どもたちが自分のアバターを昭和レトロな街並みに投影して、ジオラマとは違う映像の昭和の世界で現代の子どもたちが遊べるというようなデジタルアートのようなことを絡められたら楽しいかなと思いました。以上です。

事務局：F 委員いかがでしょうか。

F 委員：施設名称についてですが、トキワ荘マンガミュージアムやトキワ荘通りお休み処で名称のアンケートを取っても良いのではないかと思います。トキワ荘マンガミュージアムの名称を決める際はなかったですが、候補を掲示して他の案があるか等、施設の来館者に聞いてみても良いと思います。最近、味楽百貨店の工事が進んでおり、何ができるのか聞かれることもありますので、皆様関心を持たれているようです。

事務局：D 委員いかがでしょうか。

D 委員：愛称について、地元の方の意見が反映されれば良いなと思っています。先程、若い方々は「昭和」に自分たちとは縁遠いイメージを持っているというご意見ありましたが、トキワ荘が昭和の時代の建物ということは伝わってほしいと思います。地元の方々に意見を聞いて手広くしてしまうのも混乱してしまうので、基本的には、A 委員に一任をするという形で、コアなメンバーで意見を出し合いながら、いい名称が出ればよいなと思っています。また、外装がトキワ荘マンガミュージアムに比べて新しい雰囲気できているようです。昭和の建物であれば、古めかしくなると良いと思います。それから、使用方法については問題ないと思っています。先程の連続使用可能な期間について、土日が2週分含まれると良いという意見も良いと思っています。このあたりも、臨機応変な対応ができればと思います。また、90周年記念事業のイベントが今年11月に始まりますが、それに合わせてこの味楽百貨店がトキワ荘通りを盛り上げる核になると思います。何とか成功させていただきたいと

審 議 経 過

No. 8

思いますので、宜しく願いいたします。以上です。

事務局：E 委員いかがでしょうか。

E 委員：皆様のご意見を聞いて、まず同意する部分ですが、施設名称・愛称についてです。外壁に残っている「味楽百貨店」という看板が、昭和感があり洒落ていると思いますので、施設名称として残しても良いのではないかと思います。「百貨店」という言葉も様々なイベントがあるという意味で通じると思います。また、「昭和」という言葉が広い意味でとらえられてしまうという意見にも同意できます。味楽百貨店はトキワ荘通りの中央にあるので、「トキワ荘通りセンター」などと付けるのも良いのではないかと思います。また、こちらでデータを見てみると、トキワ荘通りお休み処、トキワ荘マンガミュージアム、トキワ荘マンガステーションの3施設は「トキワ荘」というワードで検索されることが多いようです。その場合、トキワ荘マンガミュージアム、トキワ荘マンガステーション、トキワ荘通りお休み処という順番で検索結果が出ます。こちらを留意していただけたらと思います。あとは看板についてです。資料2-3にある青梅市の施設のような映画のポスター風や水彩のクラシッくな看板でも面白いと思います。また、先ほど話がありました、連続貸出期間についてですが、ギャラリーですと準備も含め2週間としている所もあるので、ガイドラインとして示す場合は他施設の利用状況を参考にいただけたらと思います。以上です。

事務局：公益財団法人としま未来文化財団 ミュージアム運営課長いかがでしょうか。

ミュージアム運営課長：まず施設名称についてですが、昭和を意識した名称が良いと思うので、「昭和」とついても良いと思います。最近、地元の方々にトキワ荘マンガミュージアムを「ミュージアム」と呼んでいただけて、施設が認知されてきています。③トキワ荘通り昭和レトロミュージアムという名称は地元の方々を混乱させてしまうと思うので、いかがかなと思います。また、貸室として地域や外部の方に貸し出しをすることですが、他の地域施設でもトラブルがあるのでそういったお話も考慮して決めるなど行った方が良いと思います。協議会のような団体をつくり、長期利用の場合などは誰にでも貸すのではなく協議して決定するというシステムをつくると良いと思います。

事務局：有難うございます。B 委員いかがでしょうか。

B 委員：これからの検討で特に大事になるのは、建物竣工後の内容だと思います。例えば、子どもたち、地元の大人、外部から来た方々とターゲットを分けて考えなければいけま

せん。街の活性化を考えると、まず地域の子どもからお年寄りを対象にしたイベントをしっかりと構築していくことが大事だと思います。開館後まもなくは様々な企画がありますが、その中で持続可能なイベントはどのようなものか考えなければいけません。例えば、地方自治体にプロモーションとして参加いただき、協賛による物販などです。様々な地域でトライアルし、来場者のニーズのデータを取ることで、5年、10年先でも長続きするようなイベントが分かると思います。そういったイベントの柱が2、3本はほしいなと考えております。ほかにもスペシャルイベントももちろん大事です。こういった検討をするために、そろそろ実を入れてしっかりとした検討会を開くのはいいのではないかと思います。また、先ほどもお話出ましたが、自動販売機は良いと思います。トキワ荘通りお休み処、トキワ荘マンガミュージアムには食べ物や飲み物などの消え物がありませんし、スペースもありません。ですので、味楽百貨店に自動販売機を設置すると良いと思います。昭和という強い性格を持った建物なので、中身は当時の駄菓子やコマなどのおもちゃなどいろいろなものを入れて、2台くらいどこかに置ければ良いと思います。また、パブリックスペースなので、立ち寄りたいたいという地元の方々もいると思います。イベントがないときは机や椅子が使えるようにしていただくと大変有難いです。そこで休憩して、ラムネやチューダー飴など飲食物が買えるような自動販売機を設置していただけたら良いと思います。ともかくイベントの内容が非常に大事で、継続できるイベントを用意しないと魅力的な施設にならないと思います。

事務局：K 委員、お願いいたします。

K 委員：パブリックコメントで、施設の管理運営について定期的なイベントの開催や、地域の人々に親しまれる交流の場にしてほしいなどのお声を頂いていて、非常に活用にご期待頂いているなど実感しました。B 委員からもお話ありましたように、子どもたちから年配の方まで楽しめるようなイベントについて中身も併せて検討していかなければとも思いますし、地域の方や事業者の方も利用しやすいよう検討していかなければと改めて思いました。それから、愛称についてですが、まず地元の方のご意向を尊重したいと思います。候補内ですと、「レトロ」という言葉が雑誌の特集や通販サイトの検索ワードなどで使われているので、若者には「レトロ」という言葉は馴染みやすいと思います。レトロというと、皆様のご意見にもあるように味楽百貨店の看板はレトロだと印象があるので、そこもどうするか考えていければ良いと思います。

事務局：A 委員お願いいたします。

A 委員：皆様のご意見聞きながら、原点であるトキワ荘のマンガ文化はどのようなものか

審 議 経 過

No. 1 0

考えていました。この地域は関東大震災の後、被災者の受け入れ地域として大きく変わり始めました。昭和初期は大不況でしたが、区制が昭和7年から始まり結び付いてきました。昭和20年以降は、社会の混乱と復興、インフラの整備が進む過程であり、昭和という時代は非常に価値のあるものです。そのような時期に、トキワ荘の共同生活の中から世界に誇れる日本のマンガ文化が発展してきたこと、それは地域にとって非常に大きな財産だと思います。そのマンガ文化の素晴らしさだけでなく価値を次世代に継承し、それが街の活性化に繋がれば良いと思います。具体的には時間をかけて高野区長や皆様とも相談しながら進めていければいいと思います。

高野区長：L委員からお話の合った郷土資料館の企画展ですが、味楽百貨店、宣教師館、鈴木信太郎記念館の4施設を含めた区制90周年にふさわしい大企画展となる予定です。この後その内容についてももう少し詳しく、説明をいただけたらと思います。また、整備計画案ですが、おかげさまで大変良いものが出来上がっていると思います。本日は皆様にお集まりいただき、特にネーミングについては熱い想いもあると分かりましたので、A委員と私とで皆様のご意見をまとめて決めさせていただきたいと思っております。なお、この委員会は本日で一旦終了いたしますが、4月からより良い活用に向けて委員の皆様が集まっていただいて、特に地域の参画について話し合えればと思います。この味楽百貨店は、トキワ荘通りを繋ぐ地域の宝ですから、地域の方々のご意見を十分に反映されるようではなれないと思います。

L委員：お時間の都合もごさいますので、簡略に概要を説明いたします。豊島区誕生の前史から始まり、区制発足、復興期から現在、未来に至るまでを振り返る内容となっております。分館である宣教師館では児童雑誌「赤い鳥」を中心とした展示、旧鈴木信太郎記念館では信太郎自身が昭和に活躍した文学者であるため、その詳細を紹介する展示、そのほかこの昭和歴史文化記念館、トキワ荘マンガミュージアムと連携した4施設での展示を計画しております。

事務局：郷土資料館での企画展ですが、企画展示室だけでなく廊下など全館を活用した展示となっております。企画展の開催は11月1日を予定しておりますが、その前からお子様でも楽しめるような体験型の企画も検討しております。90周年を盛り上げていきたいと思っておりますので、皆様よろしくお願いたします。

I委員：最後に一点宜しいでしょうか。今回、味楽百貨店の1階に民間施設として「マンガピット」という施設が入ります。オープンが3月27日で検討しています。またご意見い

審 議 経 過

No. 1 1

ただきたいのですが、ファサード看板について味楽百貨店の看板よりも今回の看板を大きくするか小さくするかで印象が変わると思います。高野区長と A 委員の話し合い次第かと思いますが、そのサイズ感を検討していただきたいと思います。

事務局：有難うございました。区長のお話にもありましたように、整備計画案は今回の形で議会にかけさせていただきます。肝心の活用についてはまだご意見いただきたいと思いますので、来年度以降も委員会を継続していきたいと思っております。施設名称については、皆様のご意見を参考にして、区長とも相談して決定しようと思っております。文化商工部長、最後にお願いいたします。

文化商工部長：短い時間でしたので、十分にご発言いただく時間がなく申し訳ございません。今回で整備基本計画が策定されたということで、年度内はこの委員会閉めさせていただきます。この施設をどう活用してどう活性化に繋げるか、あるいは施設の休館日でも地域を歩いていただく仕組みをどうつくるかなど提案を頂いていますので、今後も引き続き事務局主体になりますが、地域の素晴らしい施設になるよう努めていきたいと思っておりますので、これからも遠慮なくご意見いただければと存じます。以上です。

事務局：では、本日は終了とさせていただきます。有難うございました。

<p>会 議 の 結 果</p>	<p>(1) 整備基本計画案について (2) 施設名・愛称について (3) 新たな文化施設の管理運営について 報告 《区制 90 周年記念》特別企画展の開催について</p> <p>→(1)(2)(3)について意見交換を行った。</p>
<p>提出された資料等</p>	<p>1-1 「トキワ荘通りの新たな文化施設整備基本計画（素案）」 のパブリックコメント実施結果 1-2 整備基本計画（概要版） 1-3 整備基本計画（本編） 2-1 新たな文化施設の正式名称及び愛称について 2-2 参考）全国の昭和レトロ施設 2-3 参考）東京の昭和レトロ施設 3-1 新たな文化施設の管理運営について 3-2 参考）区施設の管理運営状況 報告 1 《区制 90 周年記念》「(仮称) タイムトリップ 豊島区の 90 年」 報告 2 《区制 90 周年記念》「(仮称) これも学習マンガだ！展」</p>
<p>そ の 他</p>	